

令和2年度 認定救急検査技師制度行列のできるスキルアップ研修会XI

生涯教育制度専門教科 20 点、認定救急検査技師 5 単位、POC コーディネーター申請 5 単位	
テーマ	災害大国日本 ～対岸の火事ではすまされない！！過去から学ぶ災害医療～
目的	災害に直面した時、施設内で検査技師はいったい何ができるのか？準備していることがどのように活かされ、何が足りないのかということ学び、臨床検査技師としてだけでなく、一人のヒトとして身に着けるべきスキル・知識を、トリアージ訓練や心肺蘇生法、POCT 対応機器の操作実習にて習得することを期待する。
会期	令和2年4月24日（金） 13時30分～19時30分
会場	仙台国際センター会議棟 2F 桜
内容	<p>12:30～13:30 受付 (敬称略)</p> <p>13:30 ～13:35 開講式・オリエンテーション</p> <p>基調講演 13:35～14:35 (60分) 座長：服部 聡 三田 陽子 さあ始めよう！災害医療～CSCATTT を中心に～ 久志本 成樹先生（東北大学病院救急科 高度救命救急センター）</p> <p>トリアージ訓練 藤田 基生先生（東北大学病院救急科 高度救命救急センター） 阿部 喜子先生（東北大学病院救急科 災害対応マネジメントセンター）</p> <p>2. 14:45～15:50 シンポジウム (65分) 座長：久保田 芽里 工藤 奈美 熊本地震後における臨床検査技師の活動について 斉藤 義治先生：(熊本市立 熊本市民病院) 災害に備える臨床検査と検査室の役割 鳴海 武長先生（日本医科大学 多摩永山病院） 災害時における臨床衛生検査技師会の対応 深澤 恵治先生（日本臨床衛生検査技師会）</p> <p>総合討論</p> <p>3. 16:00～16:30 心肺蘇生法講習 (30分) 司会：工藤 奈美 藪 圭介先生（枚方公済病院）</p> <p>4. 16:40～18:31 POCT 対応機器実習 (114分 13分×8 ブース) 司会：木下 陽介 三田 陽子 小型携帯型～据え置き型検査機器（ドライケミストリー生化学分析装置、血球計数装置） 携帯型超音波検査装置、イムノクロマト法検査キットを含め災害医療全般について実習 ※8 ブース 8 企業、1 グループ 15～20 名を予定。</p> <p>5. 18:31～19:30 グループワーク (54分) 改めて災害医療を考える～研修会を通じて学んだこと～ 司会：服部 聡 福岡 京子 坂本 秀生先生（神戸常盤大学） スキルアップ研修会を通じて学んだ災害医療についてグループワークを行う。</p> <p>※プログラムは2020年1月時点のもので都合により一部変更になる可能性があります。</p>
募集人員	150名（先着順） ※事前参加申込のみで当日参加申込はありません。
参加資格	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員
受講料	5,000円 ※クレジット決済のみ
申込締切	令和2年3月18日（水）
申込要領	会員専用ページ ⇒ 生涯教育 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技又は支部講習会を選択 ⇒ 事前登録
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-3768-4722

宿 泊	各自で手配してください。
主 催	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会、一般社団法人 日本医療検査科学会